

施策名 歩く魅力のあるまちづくり

1341 所管局: 建設局 共管局: 都市計画局

概要 まちの美化, 自然・歴史的な景観の保全, 市街地の町並み整備, 道路のバリアフリー化に取り組み, 安全快適で歩く魅力のあるまちづくりを推進する。

総合評価
B (B) 客観指標評価は, 放置自転車の台数が減少したものの, 歩道の整備延長が昨年度より大幅に悪化するなど全体としてどちらとも言えない。
 市民の生活実感については, 歩く魅力のあるまちづくりであるとの実感が高くやや良い状況にある。
 この施策は, 市民生活の充実感及び満足感を高めることが目的であり, 市民生活実感評価を重視して施策の目的がかなり達成されていると評価する。

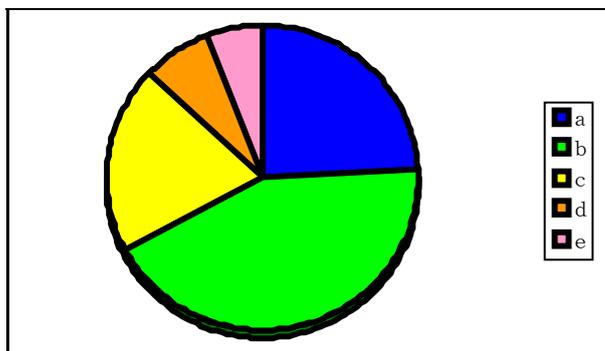
○この施策の客観指標評価

客観指標総合評価 C (c)

| 指標名 | 前回値 | 最新値 | 目標値 | 達成度 | 評価 |
|-------------------------------------|------|------|------|--------|-------|
| 歩道の整備延長(m) | 1407 | 870 | 4225 | 20.6% | e (e) |
| 放置自転車の台数(台) | 8391 | 7282 | 7048 | 96.7% | b (b) |
| (準)道路のバリアフリー化計画の実施済地区数 | 4 | 6 | 2 | 100.0% | a (a) |
| (準)外観上の特徴が残り建物状態が良好な京町家の割合(%) | | 26 | | | - (-) |
| (準)バリアフリー全体構想に基づき事業を着手した旅客施設数の割合(%) | 25.5 | 34 | 29.8 | 114.1% | c (b) |
| (準)景観重要建造物件数(件) | 0 | 3 | | | - (-) |
| (準)景観保全や整備に関する地区の指定数及び面積(数値は別掲) | | | | | b (c) |

○この施策に関する市民生活実感評価

京都市は, まちの美しさや賑わいなどにより, 歩いて楽しいまちである。



| | | | |
|------------------|-----|----------|---------|
| 答a: そう思う | 127 | 24.2% | (23.5%) |
| 答b: どちらかというと思う | 225 | 42.9% | (40.9%) |
| 答c: どちらとも言えない | 104 | 19.8% | (21.1%) |
| 答d: どちらかというと思わない | 37 | 7.1% | (8.4%) |
| 答e: そう思わない | 31 | 5.9% | (6.1%) |
| 有効回答数 | 524 | | |
| 市民生活実感評価 | | b | (b) |

※ ()は昨年の評価結果及び数値を表しています。

<参考>この施策実現のための主な事業

- 事業名**
- 歴史街道計画の推進
 - 交通施設バリアフリー化設備整備費補助
 - 交通バリアフリー基本構想策定業務
 - 看板等路上物件適正化事業
 - 通行支障柱移設
 - 交通安全施設等整備
 - 電線類地中化
 - (従)「世界一美しいまち・京都」の推進
 - (従)公衆便所整備
 - (従)快適トイレのモデル導入
 - (従)放置自転車等対策
 - (従)放置自転車対策(緊急雇用)